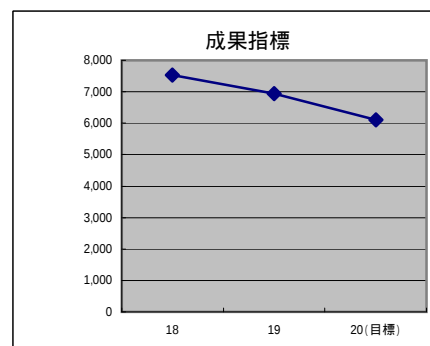
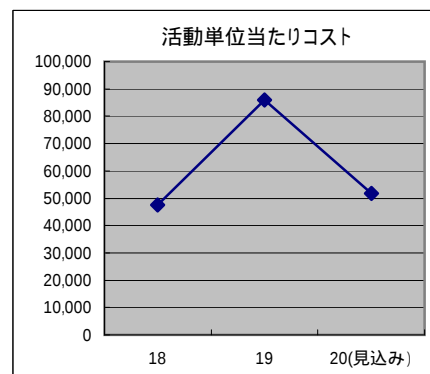


事務事業名		鉛管取替事業		予算科目	会計	水道会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち		款	資本的支出	
	施策(節)	11	上下水道		項	建設改良費	
	施策の方向	(1)	良好で安全な水の供給		目	工事請負費	
関連する計画等					事業	鉛管取替事業	
				作成部署	水道局工務課		
				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 5046		
事業の目的	対象(誰を・何を)						
	給水区域内の鉛製給水管						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	上水道の安全性向上のため、鉛製給水管をポリエチレン2層管に取り替える。						
	道路に埋設されている水道本管から、宅地内へ引き込まれている鉛製給水管を、ポリエチレン2層管に取り替える。						
根拠法令等		水道法					
事業開始時期		☐ 昭和 ☒ 平成 14 年 月開始 ☐ 明確にはわからない				終了年度	平成 年度
事業開始時からの状況変化							
市民や議会の要望		早期全廃に向け、計画的に実施するよう要望がある。					
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 外郭団体委託 ☐ 民間委託	名称			委託内容	

区 分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		29,584	30,000	30,000
人件費【2】 (千円)		6,300	6,300	6,300
職員数	正規職員	0.75 人	0.75 人	0.75 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		35,884	36,300	36,300
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	35,884	36,300	36,300
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
総工事件数 件		756	422	700
取替工事件数 件		238	113	200
その他工事件数 件		518	309	500
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		47,466 円	86,019 円	51,857 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		298 円	302 円	303 円



成果指標	指標名	指標設定の考え方	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	給水区域内鉛製給水管残件数(件)	鉛管取替事業開始初年度(平成14年度)からの給水区域内における残存件数の減少	目標 7,500	6,800	達成率(%)
	式)		実績 7,523	6,949	97.9%
	式)		目標	達成率(%)	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市民が安全・安心な水道水を使用していくうえで、必要な事業である。
○				○							

視点	分析のためのチェック点			分析・評価の説明		
	はい	いいえ	該当なし			
妥当性	市民ニーズが高い			☒	☐	☐
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない			☒	☐	☐
	社会情勢の変化に対応している			☒	☐	☐
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない			☒	☐	☐
	国・府の事業と重複していない			☒	☐	☐
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい			☒	☐	☐
	緊急性が認められる			☒	☐	☐
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)			☒	☐	☐
	受益者負担の割合は適当である			☐	☐	☒
	人員を削減する余地がない			☒	☐	☐
	事業費を削減する余地がない			☒	☐	☐
	簡略化できる方法や手段がない			☒	☐	☐
	市の他事業と重複していない			☒	☐	☐
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない			☒	☐	☐
有効性	上位の施策(目的)が明確である			☒	☐	☐
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である			☒	☐	☐
	成果を向上させる余地がない			☐	☒	☐
	市民の視点にたってサービスが提供されている			☒	☐	☐
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している			☐	☐	☒
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている			☒	☐	☐
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している			☒	☐	☐
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている			☒	☐	☐
達成度	成果指標の目標値は適正である			☒	☐	☐
	成果指標の実績値は目標値以上である			☐	☒	☐
	成果指標は前年度より向上している			☒	☐	☐

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	平成１４年から順次取替工事を実施しており、着実に残存件数が減少している。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
	計画どおり取替工事を行い、早期全廃を目指す。	